



箕輪進修高校 進路指導室

2012. 12. 25

3, 4年生用 No.70



ひとを思いやる心

「マッチ売りの少女」という物語はちょうど今頃の話です。この物語に描かれた時代とは異なりますが、この時期クリスマスということで、世の中に何か華やかさが漂いますが、一方では様々な悲しい思いに浸っている人も沢山いるでしょう。私達は、より大きな悲しみや困難を抱えている人に対し、同情を感じつつも一方では優越感を感じたり、そんな人を冷たく見るということもありがちです。そうした社会的に弱い立場の人々に温かい思いやりを持って接することは必要なことです。人は皆そうやって互いを支え合って生きているのです。

大震災や災害等の折、多くの人々の善意が寄せられています。**困っている人には皆で温かく支えてやれるような優しさを持ち続けたいもの**です。自分たちが困っている時にまた他の人達から手をさしのべられることもあるでしょう。

人間の中には誰にでもそんな優しさがあるはずですが、時には人に意地悪をしたり、人と争ったり、国同士で戦争をしたりと悪魔の心も潜んでいます。それは人間の弱さに起因しているのでしょう。私達は**もっと素直に人を思いやる気持ちを大切にしたいもの**です。優しさの量ではなくその気持ちが大切でしょう。

叱られるとは



先日工業科の3年生の実習中にある生徒を厳しく叱りました。原因は、自分で考えようとせず人に頼ろうとばかりしていたのです。工業科の生徒として極めて基本的なことを理解しておらず、このまま会社に出たのでは心配と考えたからです。学校で叱られるのは別に問題はありませんが、企業に入ってから「工業科を出てこんなことも知らないのか」と叱られたのでは本人が惨めでしょう。

皆さんも叱られる内容はそれぞれ異なるでしょうが、親や先生から叱られたことは少なからずあるでしょう。その多くは皆さんの為を思っている叱りです。皆さんがこれから社会に出れば色々な場面で上司等から叱られることもあるでしょう。社会に出たときの叱責はマイナス評価に繋がりがねません。その意味でも学生時代に**叱られたことは出来るだけその場でしっかり反省し、今後に生かして欲しいもの**です。

学生時代に叱られたことはそれほど心に引っかからないかもしれませんが、社会に出て叱られると、最近の若い人は自分の非を振り返る前に、怒られたことだけに反発し時にはすぐに会社を辞めてしまうということが起きがちです。時には理不尽な叱られ方をすることもありますが、**若い時期は素直に反省する気持ちが必要**でしょう。また、少しくらい叱られたからといって、**不快の気持ちをあらわにし、軽はずみな行動をする前に、少し辛抱することも大切**でしょう。

進路受験報告書未提出者は早急に提出を！